

KNT-CTパートナーズ会総会特集

4社統合に向け、進む事業再編



植樹会での記念撮影

KNT-CTグループでは東日本大震災の被災地への応援ツアー実施などを通じた復興支援に取り組んでいる。グループ傘下の近畿日本ツーリスト商事も、これまでピーカンツッチョコレートシリーズなどを提供するサロンドロロイアル(大阪府)・岩手県陸前高田市(東京)大学の3者が共同で農業創生などに取り組む「ピーカンツッチョプロジェクト」を支援してきた。今年3月、東日本大震災の発生から15年を迎えたことから3者

東日本大震災の発生から15年 農業創生による復興支援に参画

が取り組む「ピーカンツッチョ00年」の森プロジェクトにKNT-CTホールディングス(HD)が参加。5月17日には被災後15年経ちた陸前高田市の地に「ピーカンツッチョ」の苗木を植える植樹会が開かれ、近畿日本ツーリスト商事(K)・クラブツーリズム(K)・近畿日本ツーリストグループ(B)・近畿日本ツーリスト商事の役員をはじめとする関係者が参加した。



岐阜県高山市との包括連携締結の様子(左から田中明市長、KNT-CTHDの小山佳延社長)

観光振興及び地域活性化に関する包括連携協定締結式

国内での生産・流通を拡大することで、日本の農業再生と地方創生を目指すという。ピーカンツッチョは00年以上実を結ぶ長寿の木といわれ、おりに被災地に「ピーカンツッチョ」の苗木を植えることで、100年続く希望の森を創る。植樹会には、陸前高田市の佐々木市長も参列した。植樹会後は、各社の役員らは高田松原津波復興祈念公園で東日本大震災津波伝承館や奇跡の一本松などの視察を行った。震災犠牲者への追悼を行った。

KNT-CTグループは、同プロジェクトでの活動を震災復興の歩みと未来へつなぐ社会貢献活動と位置付け、継続的な地域支援としてオリジナル商品の開発や新たなツアー造成に取り組む方針としている。

25年度における自治体・地域連携の動向

各自治体と連携協定 産業振興など課題解決

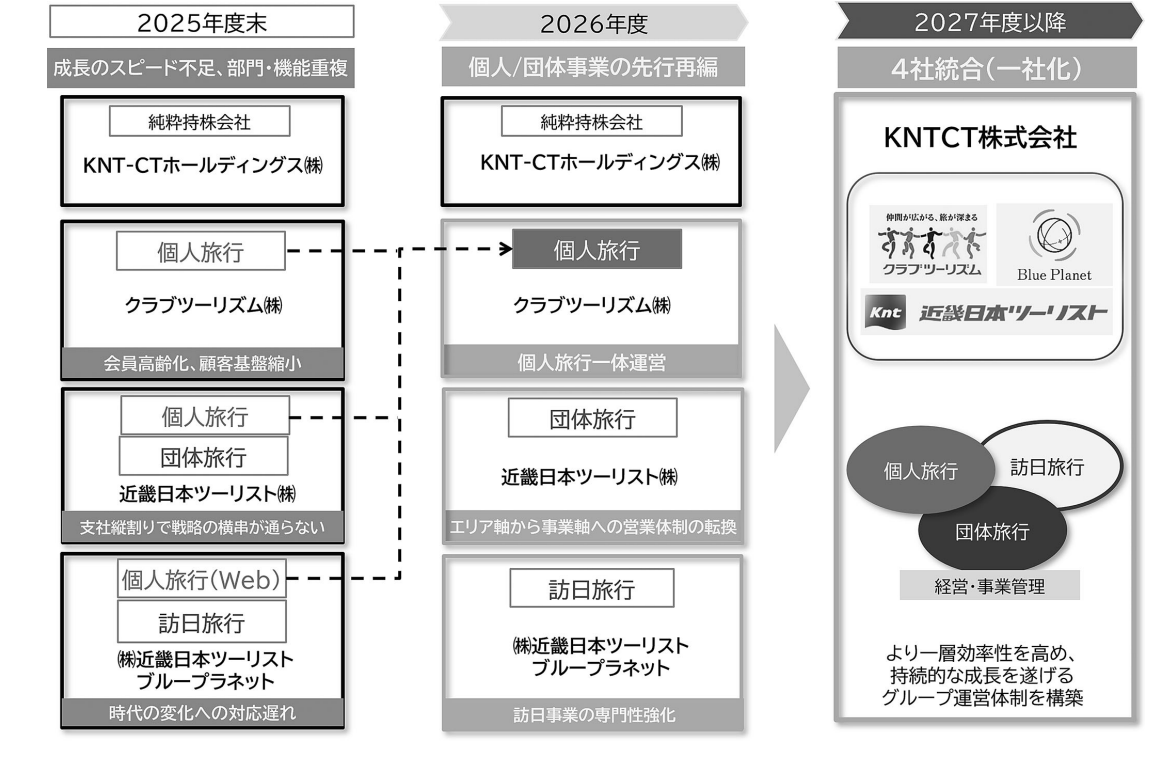
KNT-CTホールディングス(HD)は自治体との包括連携協定の締結を推進している。昨年10月10日には、岐阜県高山市と観光振興や地域活性化に関する包括連携協定を締結した。今年3月11日には、島根県と、地域活性化と県民サービスの向上を図る目的で包括連携協定を締結した。KNT-CTグループの各社から社員が地域に入り、自治体と抱える課題の解決を目指してさまざまな取り組みを行っている。



植樹会での記念撮影

高山市とは、①観光・イベントを通じた観光振興に関する事項②産業・経済・文化・歴史・スポーツの振興に関する事項③地域の魅力発信及び地域経済の活性化に関する事項④国内外向けの旅行商品・観光商品の企画開発及び販路拡大に関する事項⑤松本高山市 Big Bridge 構想実現プロジェクトに関する事項⑥その他目的達成に必要な事項の六つを連携項目に設定した。今後の具体的な内容は、都度協議を行い決定していく。

KNT-CTホールディングス(HD)は、訪日客を地方分散させるための取り組みも積極的に行っている。今年2月には、日本の芸道・武道などの「道」体験を、現代的なウェルネスとして訪日客向けに提供する「JAPAN道ウェルネス」を、同社も開発し、さまざまな体験コンテンツを発売した。急増する訪日外国人旅行者の多様化するニーズに応えるほか、国内各地を巡りながら多様な「道」体験に触れる新たな訪日観光の形も視野に入れている。全国各地を巡りながら多様な「道」体験に触れる新たな文化的動線を創出。交流人口を増やすことで、継承者や担い手不足による寺社の消滅、伝統産業の衰退、オーバーツーリズムといった社会課題の緩和にも寄与していく方針だ。



グループが持つ対応課題と、再編のイメージ(提供=KNT-CTホールディングス)

26年度から個人・団体で事業再編 グループ子会社間で会社分割実施

統合に先立ち、今年4月1日には個人旅行事業と団体旅行事業の先行再編を実施した。個人旅行事業については、KNTの直営店舗販売事業・仕入部門、B/Pの国内市場向けWEB販売部門をCTに移管し、仕入れから商品企画・販売までを一気通貫で運営する製販一体の体制を構築した。今後はCTが保有する70万人の会員と、KNTメンバークラブの300万人を合わせた計1000万人規模の顧客基盤融合を通じて、顧客生涯価値(LTV)の最大化を目指す。旅行商品も、個人型(1人1人)の年間利用者20万人と、添乗付き団体パックの年間利用者100万人の二つのセグメントを統合的に運用。オンラインオフラインのマルチチャネル各商品をシームレスに販売する体制を整える。リアル店舗は既存の24店舗を維持しつつ、WEB・SNS・紙媒体を組み合わせた多面的なアプローチを展開する。

法人公務専門店を統括する「コーポレートビジネス事業部」、教育専門店を統括する「エデュケーションビジネス事業部」、地域総合店を統括する「リージョナルビジネス事業部」を創設した。従来の「エリア軸」から「事業軸」への転換を図ることで、ネットワークを活用した全国連携強化と地域の底上げを目指す。教育旅行分野にも力を入れる。今年4月1日、KNTとユニテッドツアー(U)との間で会社分割(吸収分割)を実施。語学研修事業を含むUの海外留学事業をKNTに統合した。両社にある同事業部門の人材と知見をKNTに集約することで、海外教育市場における事業拡大を図る。

今後、「修学旅行から教育ソリューション」という方向性のもと、海外留学事業の強化、eスポーツ、部活動サポート(長野県内自治体でのオンラインクラブ活動実証など)、探究学習(「地域の歩き方」ガイドブック制作授業)など、学校・学校外双方での教育分野における不可欠なパートナーとなることを目指す。

上富良野町の提携はその第一弾として実現。サウナを中心とした町の魅力を発信し、地域を元気にしたいという上富良野町の思いと、Chillierの理念が一致したことから締結に至った。多くのサウナ愛好家から「北の聖地」と称される白銀荘とChillierのコラボグッズも制作した。締結の翌月からは、サウナの火付け役として知られるタカカウキデザインオリジナルの「サウナヤタール」などを、白銀荘の売店で発売。上富良野町と連携したChillier会員向けのイベント開催も実施予定としている。

このほか、KNT-CTHDが展開する未来創造事業で自治体と連携する動きもある。昨年10月24日には、サウナを中心とした町の魅力を発信し、地域を元気にしたいという上富良野町と観光振興及び地域活性化に関する包括連携協定を締結。町内の温泉施設「吹上温泉保養センター」白銀荘で、同社が運営する「Chillier」を2月10日から発売した。情報共有を通じて地域や旅行者のニーズを捉え、上富良野町の観光振興と地域活性化を目指す。

楽しいことが世の中にあふれている時代です。他人を気にせず好きなものを選べるのは、豊かなこと。でも、人のしあわせは、それだけではないとも思うのです。大切な自分の心を満たしながら、大切な人と一緒にいたいという気持ちもまた満たされる。万世閣は、そんな場所でありたいのです。北海道ならではの魅力。充実の湯・食・癒。多種多彩で自由自在な「万の楽しさ」がある温泉宿。世代を超え、違いを超え、素敵な時間を過ごせますように。万の楽しさ、一つの時間。

85th ANNIVERSARY

ホテル レイクサイドデラ

登別万世閣

ホテル ミリオーネ

万世閣 ホテルズ

公式ホームページ www.manseikaku-hotels.co.jp

本館 新客室、完成

リビングルームとツインのベッドルームが独立した、少し贅沢なお部屋です。 NEW セパレートツイン

リビングスペースにツインベッドを配した、少し広めのワンルームタイプ。 NEW プレミアムツイン

ご予約・お問い合わせはお電話、または公式サイトから

0957-73-2151

雲仙福田屋/山照 別邸

お部屋の詳細も公式サイトで!

雲仙福田屋

https://www.fukudaya.co.jp

進化する日本の宿

木のぬくもり、葉のやさしさ

北陸・加賀 山代温泉

瑠璃代

石川県加賀市山代温泉 19-58-1 TEL. 0761-77-2323 http://rurikoh.jp/

葉渡莉

石川県加賀市山代温泉通917 TEL. 0761-77-8200 http://hatori.jp/